

3. 競技本部執行方針（案）

厳しい経済情勢が続く中で、スポーツが社会に与える影響は、大きなものがあります。競技スポーツを観戦し、応援して楽しむだけでなく、健康体力づくり、ストレス解消、自然とのふれあい、通常的生活から離れた場所での活動を求めたりスポーツをする目的がますます多様化しています。

私たちも、従来の固定概念にとらわれることなく、スポーツの本来のあり方の原点に立った、スポーツ環境作りと、「スポーツ・フォア・オール」色々な目的を持った全ての人に参加できる競技会の企画運営を基本に取り組んでいきます。

又、進んでいる高齢化社会に対応した生涯スポーツとしての環境の整備と、地域と密着したジュニアの発掘にも積極的に取り組んでまいります。

1. 大会運営について。

- ・競技本部主催の競技会の半分を、従来の方針を継続し、野辺山杯、エプソン CUP、クラブ対抗の3事業の名称変更と、特に神奈川県民大会については、スポーツ・フォア・オールの観点から、全ての市民を対象とし、1人でも多くの人に興味を持つ競技会開催にしていきます。
- ・又、フリースタイル、アルペン部で開催している、FIS, SAK公認大会については、引き続き選手強化の観点から継続してまいります。
- ・現地依頼役員の増加により、競技会のスムーズな運営と、経費の削減に努力します。

2. 選手の発掘、育成強化について。

- ・昨今の国体不振の原因を追求し、選手の発掘から、国体を目標に単年度強化を進め、ジュニアについては従来の強化計画を進めながら、地域の指導者、高体連、中体連と連携を取り、ジュニアの発掘に努めます。
- ・フリースタイル部は近い将来国体正式種目を考慮に入れ、選手の発掘、育成に努めます。又ノルディック部については選手の発掘に全力を尽くします。
- ・選手のポイント管理を行い、定期的に各部の選手育成の状況を、ネット上で公表します。

3. 規程の整備・有資格者の管理について

- ・選手の推薦、認定などに関する規程の整備を行い、選考、推薦に関するルール作りを行います。
- ・全ての部において、加盟団体の御協力を頂き、SAJ、SAK有資格者の整理を行い、競技本部の運営に協力いただける体制を作ります。

4. ネットワークの強化

- ・教育本部を含め、加盟、所属団体、中体連、高体連との連携を深め、技術提携、役員の派遣、情報交換など、あらゆる面でスキー界発展のため、協力体制を強化していきます。
- ・スキー団体にとらわれず、他競技スポーツ団体との情報交換等、交流を深め、スポーツ界、特にスキー界発展に努力してまいります。

5. 厳しい社会情勢だからこそ、スポーツの楽しさが、社会に与える影響度などを考え、全ての部が一致協力し、関係各位の皆様のお力をお借りして、選手の発掘、育成は勿論、全ての人にとって魅力ある事業の運営に全力を尽くしてまいります。

以上